

「広聴広報についてのアンケート」実施報告

e-モニターの皆さんにご参加いただいた「e-モニターアンケート」について、今後の運営に活かしていくため、「広聴広報についてのアンケート」を実施しました。

アンケートにご協力いただきましたe-モニターの皆さんにお礼を申し上げますとともに、アンケートの実施結果を、下記のとおり報告します。

記

アンケート概要

アンケート実施期間

平成 23 年 3 月 11 日(金)から平成 23 年 3 月 22 日(火)まで

意見募集の結果

対象者数 1,354 名
回答者数 797 名
回答率 58.9%

回答者属性

性別 【男性】 450 名 56.5% 【女性】 347 名 43.5%

年代別

20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 以上代
59 人	186 人	215 人	168 人	121 人	48 人
7.4%	23.3%	27.0%	21.1%	15.2%	6.0%

地域別

桑名・員弁地域	四日市地域	鈴鹿・亀山地域	津地域	松阪地域
87 人	202 人	106 人	109 人	90 人
10.9%	25.3%	13.3%	13.7%	11.3%

南勢志摩地域	伊賀地域	尾鷲地域	熊野地域
97 人	80 人	12 人	14 人
12.2%	10.0%	1.5%	1.8%

就任年度別

20 年度	140 人
21 年度	377 人
22 年度	280 人

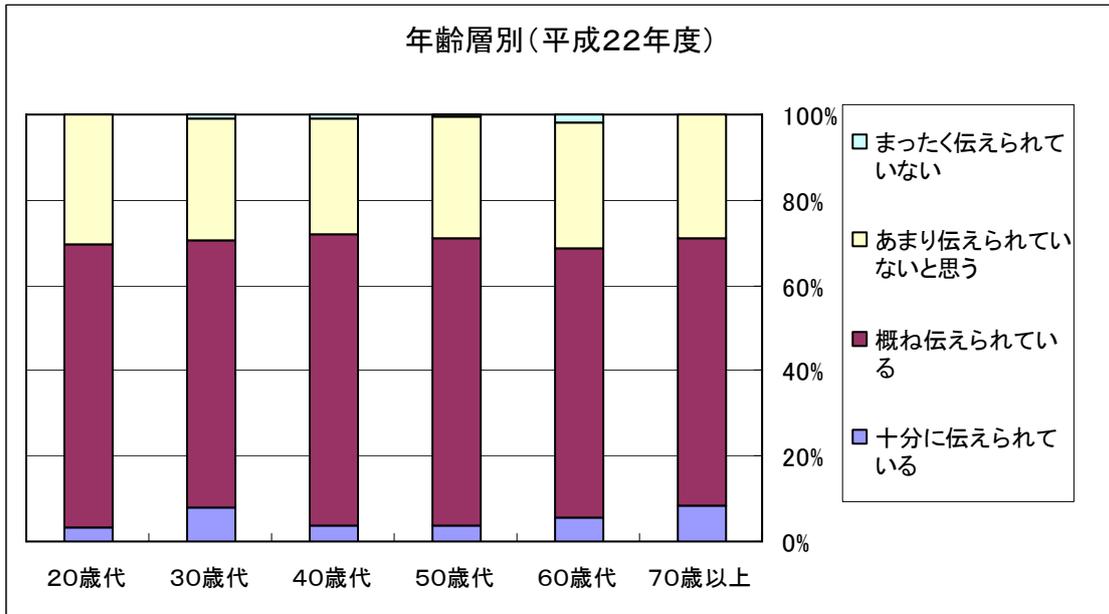
【設問 1】 県からの情報伝達について

県では、さまざまな方法で県の情報を県民の皆さんにお伝えする取り組みを行っていますが、県から発せられた情報が、県民の皆さんにどの程度伝わっているのか、その伝達度を施策の数値目標に掲げているところです。

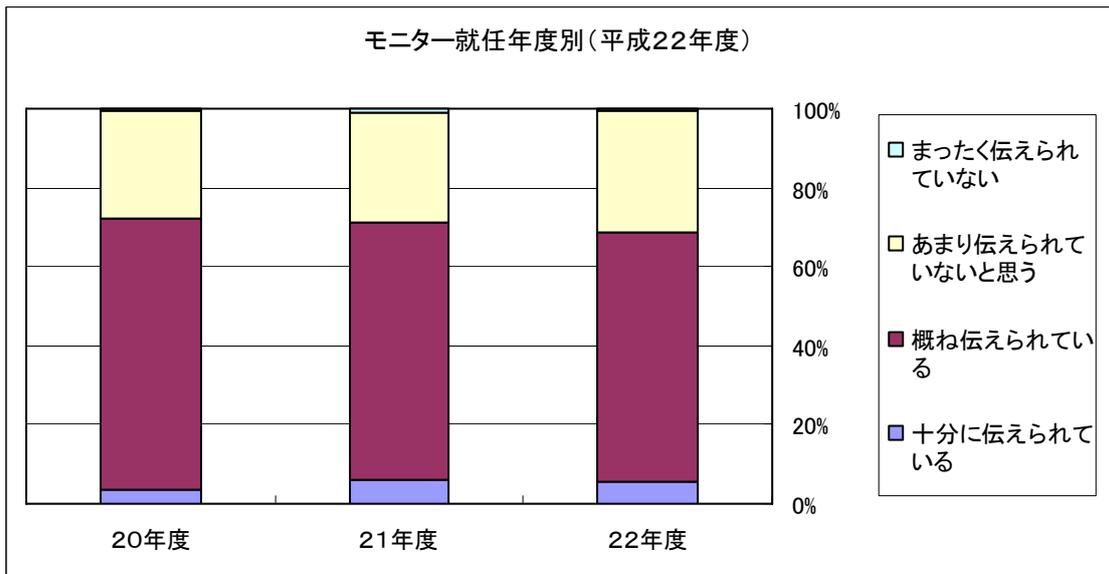
アンケートの結果、「十分に伝えられていると思う」「概ね伝えられていると思う」という回答が、70.6%でした。

(参考)20年度・・・64.9%、21年度・・・72.1%

年代別に見てみても、各世代において6割以上の方に肯定的に捉えていただいています。



また、モニターへの就任年度別の状況を見ると、2年目、3年目の方は「十分に伝えられていると思う」、「概ね伝えられていると思う」と答えていただいた方が7割を超える一方、1年目の方は7割を若干下回る結果となりました。



今回の結果を、維持し、かつ向上できるよう、今後とも県民のニーズの把握に努めて、よりわかりやすい広報活動に取り組んでまいりたいと思います。

【設問 2～4】 新聞広告について

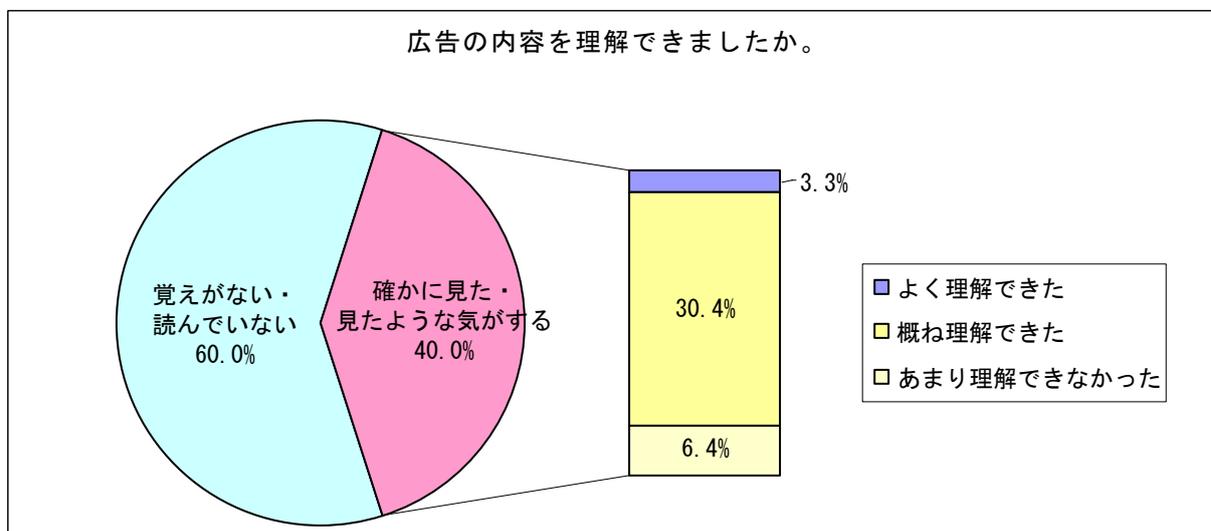
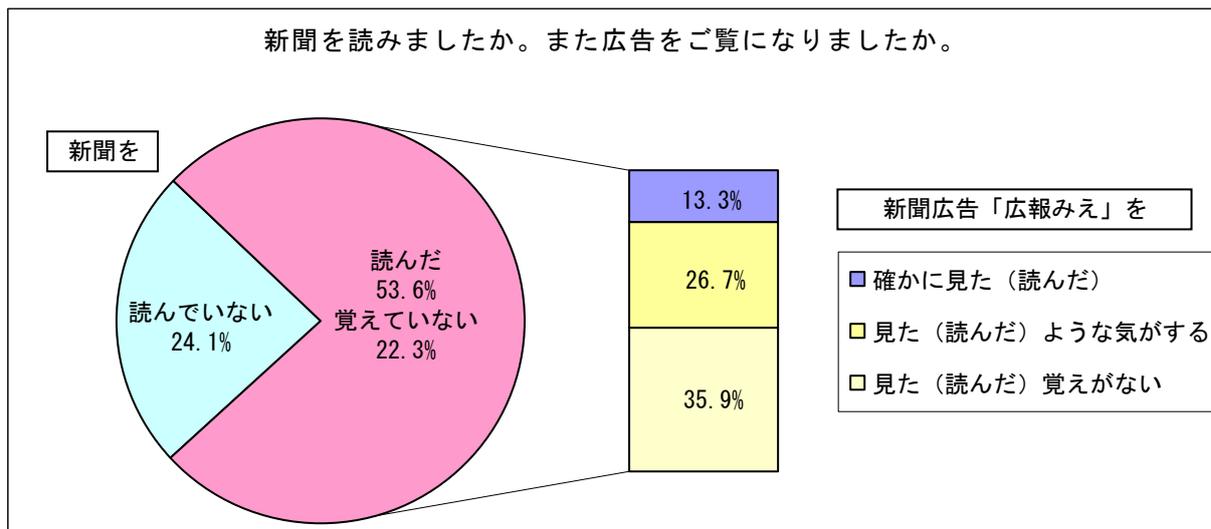
設問 2 新聞を読みましたか 設問 3 広告をご覧になりましたか 設問 4 広告の理解

設問 2～4 で、新聞広告についてお聴きしました。

広告掲載日の新聞を読んだ方が 53.6% (427 人)、覚えていない方も含めると 75.9% (605 人) になり、その中で新聞広告「広報みえ」をご覧になった方が 40% (319 人) を占め、新聞が広報媒体としてある程度有効であることがわかりました。

また、新聞広告「広報みえ」の内容について、ご覧いただいた方の理解度が 84.3% (319 人中 268 人) となり、概ねほとんどの方に理解していただいたことがわかりました。

新聞広告は、ほぼ掲載当日にしか県民の皆さんにご覧いただくことができない広報媒体であることを踏まえ、今後もタイムリーなテーマを選定し、最も効果的な時期に、より印象度が高く、分かりやすい広告を掲載するよう努めてまいります。



【設問 5～9】 県政広聴広報番組について

設問 5 県政広報番組の視聴状況

設問 6 番組の内容

設問 7 番組の内容の理解

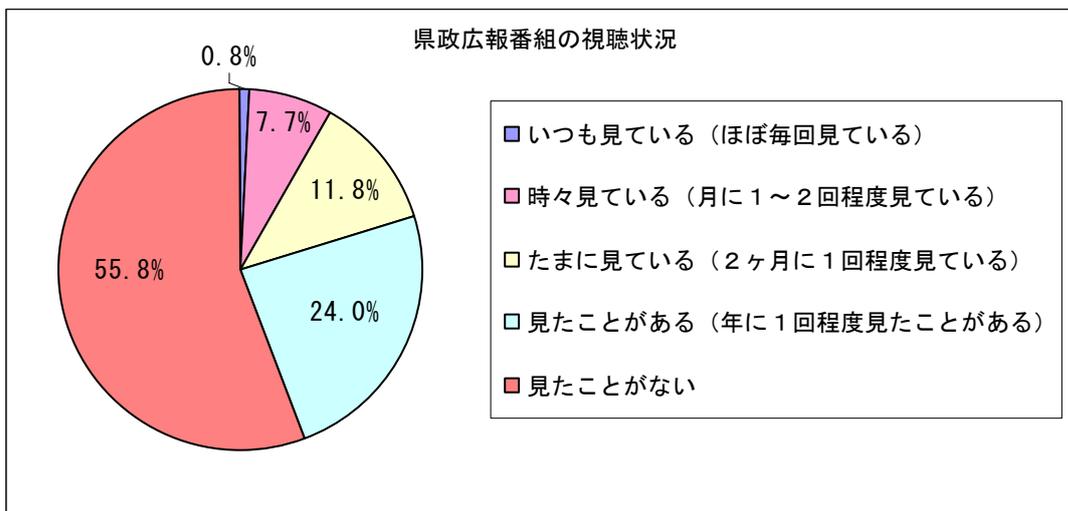
設問 8 県政広報番組をいつも(ときどき)『見ていない理由

設問 9 県政広報番組の再放送

県政広報番組については、「県政だより みえ」の裏表紙に、県提供の広報番組を毎回掲載するなど、周知を図ってきました。

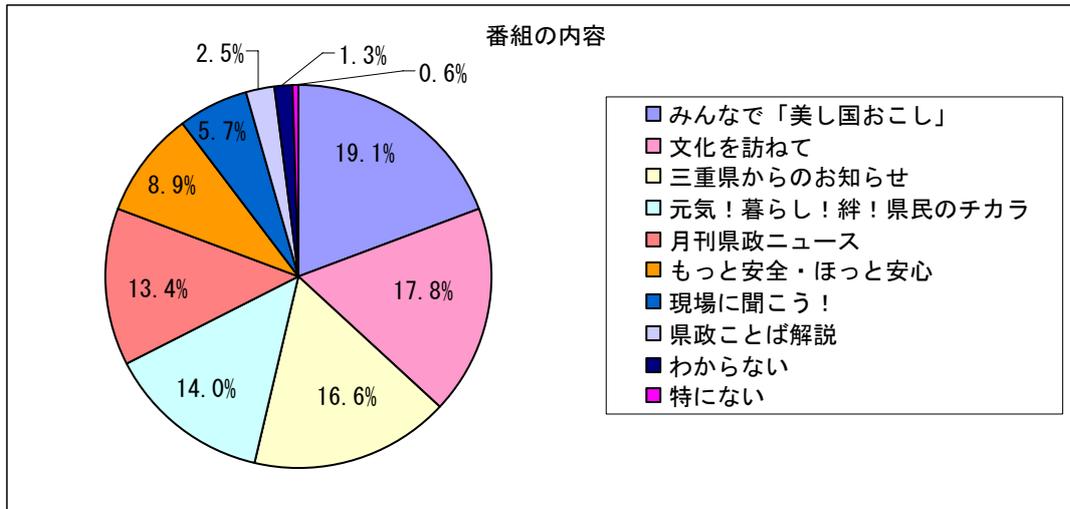
設問 5 で視聴状況をお聴きしたところ、番組を「いつも見ている」「時々見ている」と答えた方が、9% (67 人) になり、平成 21 年度の 5%、20 年度の 6% を上回りました。また、「たまに見ている」「見たことがある」と答えた方も 36% (285 人) となり、平成 21 年度の 28%、平成 20 年度の 26% を上回りました。

一方、見たことがないと答えた方の中には、番組自体を知らなかったという回答も多数あったため、引き続き広報番組の周知に努めていきます。

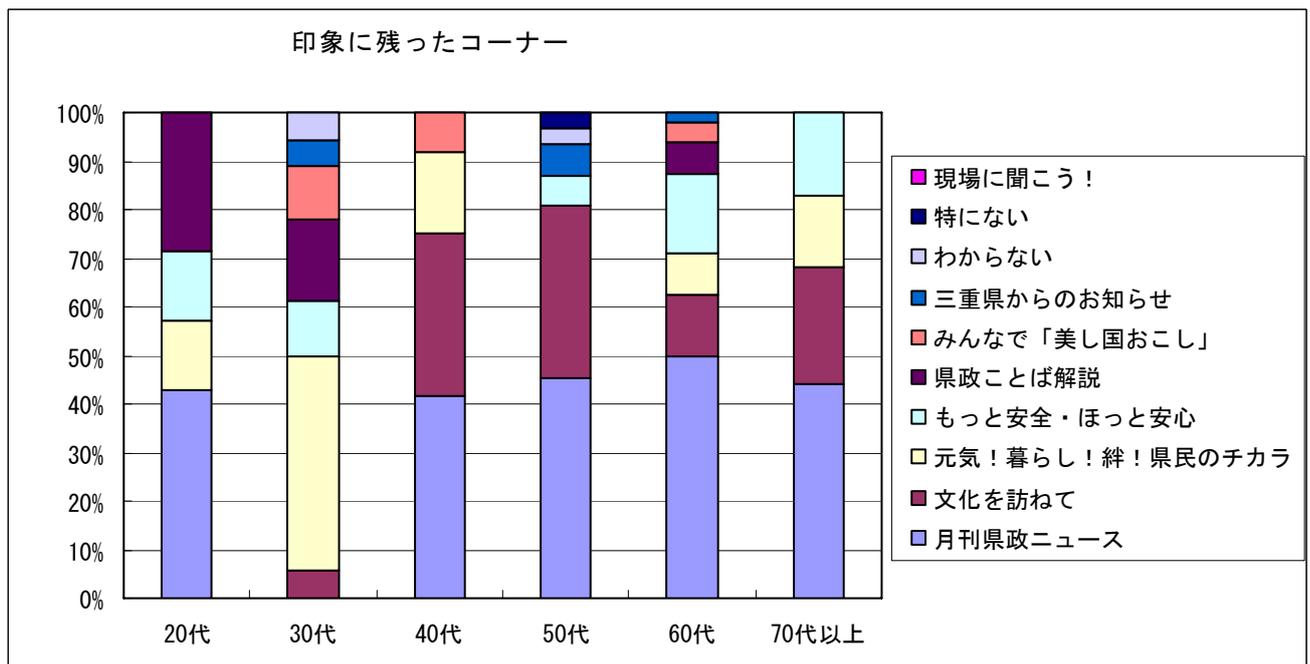


設問 6 では「いつも見ている」「時々見ている」と答えた方に、よかったと思うコーナーや印象に残ったコーナーについてお聴きし、157 人から複数回答をいただきました。

内容を見ますと、『みんなで「美し国おこし」』のコーナーが 19.1% (30 人)、『文化を訪ねて』のコーナーが 17.8% (28 人)、続いて『三重県からののお知らせ』の 16.6% (26 人)となり、この3つのコーナーで 53.5%を占めています。



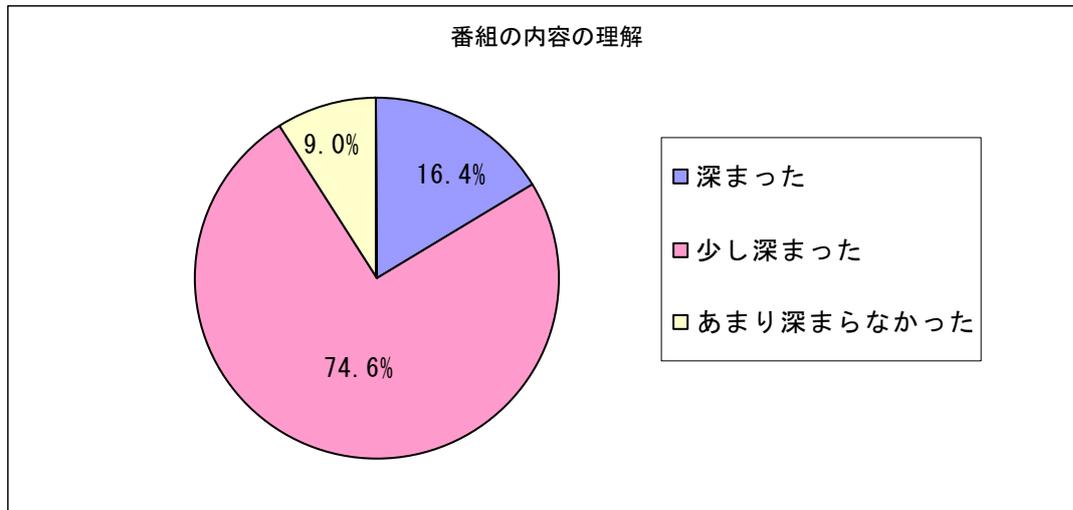
年代別に見ますと 30 代を除くすべての年代で「月刊県政ニュース」の割合が高くなっています。30 代で「元気！暮らし！絆！県民のチカラ」のコーナーが 45.5%を占めるという特徴が出ています。40 代から 70 代以上で「文化を訪ねて」のコーナーが印象に残っているようです。



設問7では、「いつも見ている」「時々見ている」と答えた方に、番組を見た結果、県政に対して理解が深まったかどうかをお聴きしました。

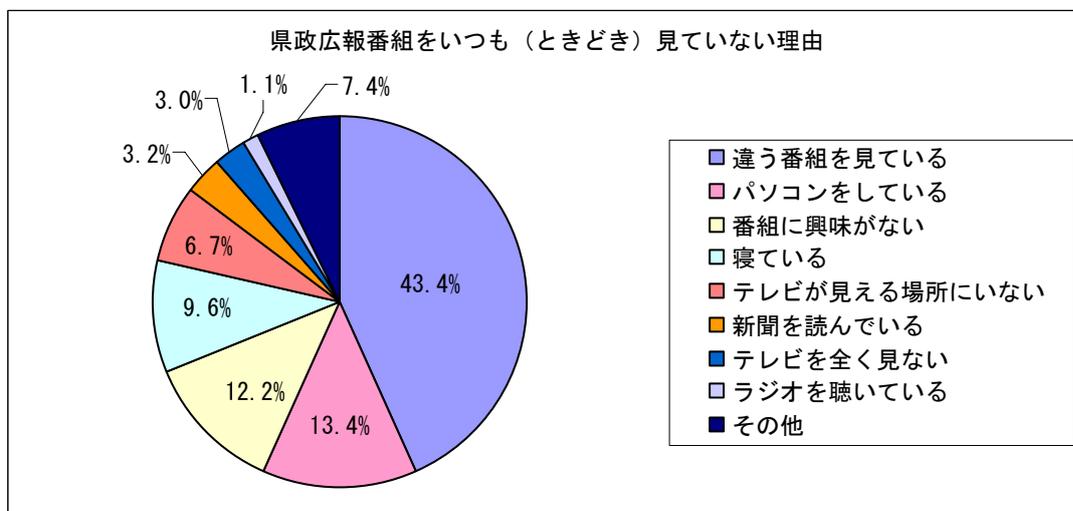
「深まった」「少し深まった」と答えた方が9割を超えました。また、「深まらなかった」と答えた方はいませんでした。

県政広報番組は、県政への関心や理解を深めていただくために、今後も内容を充実して、周知を図っていきたいと考えています。



設問8では、番組をいつも(ときどき)見ていないと答えた方に、その理由をお聴きしました。

多い順から「違う番組を見ている」「パソコンをしている」「番組に興味がない」「寝ている」という結果でした。

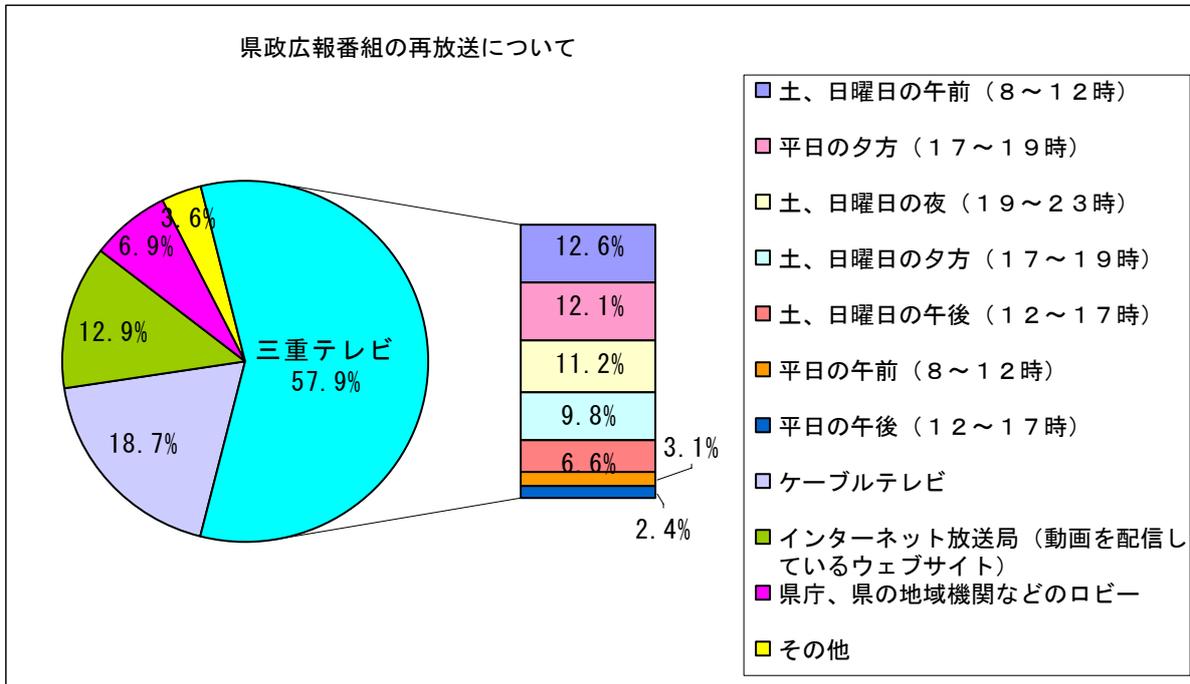


続いての設問 9 では、番組の再放送についてお聴きました。

現在の放送時間については、過去に e-モニターアンケートでお聴きた時間帯で設定しています。

今回、再放送ということでお聴きましたが、三重テレビ放送ですと、土曜・日曜の午前中を希望する回答が 12.6% (150 人)、平日の夕方を希望する回答が 12.1% (144 人) に上っています。

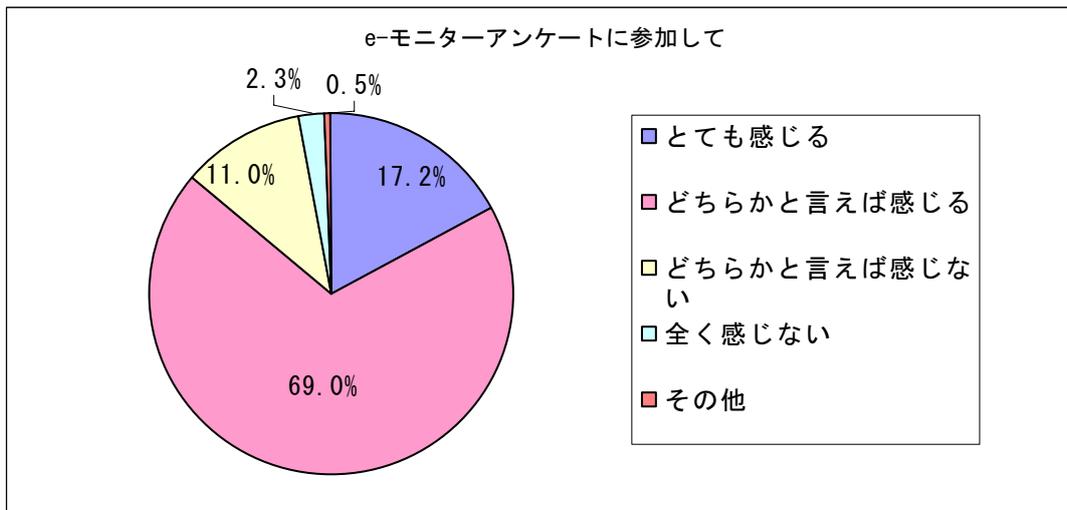
この結果を受け、現在放送の時間帯を変更することや、ほかのメディアも活用した再放送など、さまざまな機会や場所で、より多くの県民の皆さんに番組をご覧いただける方法を検討してまいります。



【設問 10～11】 e-モニターアンケートに参加して

設問 10 では、e-モニターに参加して、三重県政を身近に感じるようになったかをお聴きしました。

「とても感じる」「どちらかと言えば感じる」と答えていただいた方が 86.2% (687 人) を占め、ほとんどの方に県政を身近に感じていただけたのではないかと考えています。



また、設問 11 では、自由記述として、本当にたくさんのご意見をいただきました。ありがとうございました。

アンケートの目的をわかりやすく伝えること、説明をつけることは、広聴広報室としましても、実施室に働きかけていきたいと考えています。

そして、年度末になるべくアンケートが集中しないよう、調整していきます。

今後は、前進させるところ、改善するところをしっかりと検討して、e-モニターに参加してよかったと皆さんに思ってもらえるよう、さらなる努力をしていきます。

【肯定的なご意見】

- ・ 地域のことだけでなく、県のことにも興味を持つようになった。
- ・ 個人の意見を聴いてもらえていると感じる。
- ・ モニターになったから、知ることができたことがあった。
- ・ アンケートに答えたことが、新聞記事として出た時、身近に感じた。
- ・ 今まで以上に理解が深まり、関心を持つようになった。
- ・ アンケートに答えた後、改めて調べるようになった。
- ・ 今、問題になっていることがわかった。
- ・ 普段見過ごしていることを、改めて考える機会になった。
- ・ 県政だより みえを積極的に読むようになった。
- ・ 自分からわざわざ意見することはないので、e-モニターはいい機会だった。
- ・ 横文字が多い中、意味の解説があつて親切だった。
- ・ 三重県をもっと好きになった。
- ・ 発信する側だけでなく、受信する側ももっと努力しなければいけないと思った。
- ・ いろいろな行政分野で苦勞していること、努力していることが理解できて有意義だった。
- ・ 毎日三重県のホームページを見るようになった。

【改善を期待するご意見】

- ・ 県の担当者の実績づくりとしか思えない。
- ・ 県政への注目度を上げるためには発信側の創意工夫が必要。
- ・ 義務的な案件もあった。
- ・ 意見がどの程度反映されているかが見えてこない。わからない。
- ・ アンケートの目的が何かはっきりしないものがあった。説明をつけてほしい。
- ・ アンケートの意味があるのかと疑問に思うことがある。

- ・ 回数が少ない。
- ・ アンケート頻度が不定期で負担になる。
- ・ 年度末に回数合わせをするかのように立て続けてくるのはどうか。
- ・ 関心を持てる内容、生活に直結した身近な情報を的確に知らせてほしい。
- ・ 設問が少し一方的に感じることもある。
- ・ 自分で参画しない限り意識改革は進まないと思う。
- ・ 広報活動は十分ではないと感じた。

【その他ご意見】

- ・ モニターをして、周りの人が三重県政のことを知らなさすぎると感じる。
- ・ 設問内容に工夫が必要。漠然としてよくわからない。

【設問 12】 メールマガジンについて

メールマガジンについてもいろいろな意見をいただきました。ありがとうございました。

メールマガジンを受信しているモニターの大半に、「役に立っています」と答えていただき、また、「フォルダを作って保存している」と記載してくれたモニターの方もいて、本当に嬉しく思っています。今後も、皆さんのお役に立てる情報を発信していきたいと思えます。

【いただいた主な意見】

- ・ いろんな地区の様子ができるので楽しみ。
- ・ 各地のイベントや季節の情報が参考になった。
- ・ 地震に関する想定を踏まえた備えについて、啓蒙するマガジンも希望。
- ・ ページ構成が地味。写真を使ってほしい。もう少し見やすくしてほしい。
- ・ 子育て世代への情報がもっとほしい。
- ・ もっとローカルな情報、興味をそそる情報がほしい。
- ・ ぱっとみてわかる工夫をしてほしい。
- ・ 容量が多くて見きれない。
- ・ 情報量が少なすぎる。
- ・ 直前のアンケートの総括を載せてほしい。
- ・ 観光案内はどうでもいい。中身の伴わない記事は不要。
- ・ 特典を付けてほしい。
- ・ 出かけるときの参考になった。家族の行動に役立った。
- ・ 面白くも何ともない。
- ・ 隠れた名所・旧跡を載せてほしい。
- ・ 他県と比較して、三重県のよいところ、悪いところを広報してほしい。
- ・ 県内のどこの市町が最も効率よく住民サービスを実施しているのか案内してほしい。
- ・ 三重県が日本一のものや、努力して勝ち得た 1 番のものなどを紹介してほしい。
- ・ 新聞やテレビを見ないので、メルマガで情報を知ることができてよかった。
- ・ 県民全員に半強制的に送れば、情報は伝わるし、コストもかからない広報ができるのでは。
- ・ 回数を増やしてほしい。
- ・ もう少し県政についての内容を増やしてほしい。